



要望書第 37 号 持参

令和 5 年度

こんぜの里周辺施設に関する要望書

令和 4 年 11 月 24 日

滋賀南部森林組合



一般社団法人 栗東市観光協会
- Ritto Tourism Association -

こんぜの里周辺 4 施設に関する条例改正および予算要求についての要望

こんぜの里周辺にある「道の駅」「自然体験学習センター」「バンガロー村」「森林体験交流センター」の 4 施設は、平成 18 年の指定管理者制度導入以降、民間事業者により運営されてきました。

指定管理期間 3 期 16 年を経て、現在は、施設のあり方を検討する期間と位置付けされ、コンサルティング会社によるヒアリング、それを基にした検討委員会の設置など検討を進めていただいている最中ではありますが、施設の老朽化はもとより、燃料価格の高騰、仕入れ原価の価格上昇など、さまざまな外部要因による未だかつてない変革の時代に立ち向かうべく、民間の持つ事業力を最大限に発揮させ当該地域の活性化を図るためには、次の 2 項目が必要と考えることからこんぜの里周辺施設の指定管理者 3 者による共同要望を提出させていただく次第です。

【令和 5 年度 条例改正に関する要望】

1. 自然体験学習センター、バンガロー村および森林体験交流センター 3 施設の「宿泊および研修施設の設置及び管理に関する条例」における料金設定に条件面の緩和（上限額の撤廃もしくは拡大）

自然体験学習センター、バンガロー村、森林体験交流センターそれぞれの施設において、民間の活力を活用して魅力を最大限に引き出し、市内外からの来訪や地域における滞在活動を促進することにより、中山間地の森林資源を活かした農林業の振興、都市生活者との交流による相互理解、山村地域社会の活性化の好循環をより高めることが重要です。民間の持つ知見や技術、能力を発揮していくためには、価格設定に一定の裁量を認めることが肝要であると考えことから、各施設の設置及び管理に関する条例に定められた利用料金等の上限額の撤廃もしくは拡大に向けた条例改正を図っていただくよう要望いたします。

【令和5年度 市の予算要求に向けた要望】

1. 平谷球場を含めたこんぜの里周辺施設（道の駅、自然体験学習センター、バンガロー村、森林体験交流センター）における利用者を迎え入れるための受入環境（トイレ・駐車場等）再整備

平谷球場を含めたこんぜの里周辺の5施設は、設置から20年以上が経過し、老朽化が目立つようになってきました。それぞれの施設において年次的に、トイレの洋式化等施設の更新は進められてきましたが、バラツキがあり、未だに旧式の和式トイレの施設もあります。また、近年のアウトドア需要の高まりもあり、訪問者数は増加傾向にあります。駐車場の数が不足しており、近隣道路への違法駐車が見られるようになりました。

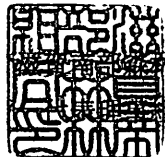
このような事態が継続するようでは、来訪者の安全確保はもちろんのこと、競争力の高い魅力ある滞在を提供することは困難であると考えことから、5施設周辺のトイレ更新、駐車場の増設、案内看板の新設および外灯の増設等受入環境の再整備を図っていただくよう要望いたします。

栗東市議会議長

田中英樹様

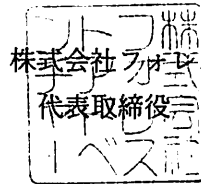
令和4年11月24日

提出者



西村森林組合
組合長

相井 忠



株式会社 フォレストアドベンチャー
代表取締役

志村 辰也



一般社団法人栗東市観光協会
会長

田

